

○ 敗者審判の流れについて (R6 高総体)

◎学校対抗戦の場合

- 1 その試合で負けた時、**主審**をしてもらう。2面展開の場合は2名。
- 2 **その試合を担当した主審**は、**審判用紙(全試合分をまとめる)**と**シャトルのみを本部に持って行き、審判用紙のチェックを受ける。審判用具ボックスはコートに置いておくこと。**
敗者(次の試合の主審)は、**試合をしたコートで待機する。スタッフから審判用紙、シャトルを受け取り、主審をする。**
- 3 主審は、整列させ、オーダーを確認する。
- 4 担当する試合の**選手の名前と最初にサーブする人、エンド、サービス高**を確認し挨拶をする。
- 5 主審をする時は**主審名(自分の名前)**を記入すること。
- 6 インターバルの時間(11点時60秒、ゲーム間120秒)をしっかりと計ること。
残り20秒前(40秒と100秒)にはコートに選手が入るように指示すること。
(第0コート20秒、選手に向かって2回繰り返す)
- 7 **勝者にはサイン**を必ず記入してもらうこと。また**点数の記入**をもれなく行うこと。
- 8 それぞれの試合終了後、主審は**試合終了時刻**を記入すること。
- 9 3試合(マッチ)先取した時点で学校対抗戦終了。
- 10 **全て記入したら、審判用紙(全試合分をまとめる)、シャトルを持ち、本部に来てチェック後、終了とする。**

◎個人戦ダブルスの場合

- 1 その試合で負けた時、**主審**をしてもらう。
- 2 **その試合を担当した主審**は、**審判用紙とシャトルを本部に持って行き、審判用紙のチェックを受ける。審判用具ボックスはコートに置いておくこと。**
敗者(次の試合の主審)は、**試合をしたコートで待機する。スタッフから審判用紙、シャトルを受け取り、主審をする。**
- 3 主審は、担当する試合の**選手の名前と最初にサーブする人、エンド、サービス高**を確認し挨拶をする。
- 4 主審をする時は**主審名(自分の名前)**を記入すること。
- 5 インターバルの時間(11点(8点)時60秒、ゲーム間120秒)をしっかりと計ること。
残り20秒前(40秒と100秒)にはコートに選手が入るように指示すること。
(第0コート20秒、選手に向かって2回繰り返す)
- 6 **勝者にはサイン**を必ず記入してもらうこと。また**点数の記入**をもれなく行うこと。
- 7 それぞれの試合終了後、主審は**試合終了時刻**を記入すること。
- 8 **全て記入したら、審判用紙、シャトルを持ち、本部に来てチェック後、終了とする。**

◎個人戦シングルスの場合

- 1 その試合で負けた時、**主審**をしてもらう。
- 2 **その試合を担当した主審**は、**審判用紙とシャトル**を本部に持って行き、**審判用紙のチェック**を受ける。**審判用具ボックスはコートに置いておくこと。**
敗者（次の試合の主審）は、**試合をしたコートで待機**する。スタッフから**審判用紙、シャトル**を受け取り、**主審**をする。
- 3 主審は、担当する試合の**選手の名前と最初にサーブする人、エンド、サービス高**を確認し挨拶をする。
- 4 主審をする時は**主審名（自分の名前）**を記入すること。
- 5 インターバルの時間（11点時60秒、ゲーム間120秒）をしっかりと計ること。
残り20秒前（40秒と100秒）にはコートに選手が入るように指示すること。
（第〇コート20秒、選手に向かって2回繰り返す）
- 6 **勝者にはサイン**を必ず記入してもらうこと。また**点数の記入**をもれなく行うこと。
- 7 それぞれの試合終了後、主審は**試合終了時刻**を記入すること。
- 8 **全て記入したら、審判用紙、シャトルを持ち、本部に来てチェック後、終了とする。**



◆得点板（カウンター）の注意事項

学校対抗戦の場合

- (1) チェンジエングズの度に、得点表示が**当該選手がいるコートと連動**するようにすること。
- (2) 補助員は得点が隠れないように、得点板の**横に立つ**こと。
- (3) 得点板（カウンター）は、**本部席から得点を確認**できるような向き（位置）に設置すること。

※学校表示、選手名表示もチェンジエングズ時に交換すること